

## 第2回 地域別懇談会(9/1-9/2) 主な意見

●西部地区 9月1日 10:00~12:00 開催 (出席:16名)

意見	事務局の回答
<p>普段西循環の市内循環バスを利用しているが、バスの時刻表が変わり、不便になった。例えば駅から病院に行く場合、帰りのバスがない場合がある。</p> <p>今はまだ自転車に乗れるが、歳をとっても行田で用足しをしたいと思ったときに、その区間の路線バスが不便であると困る。</p>	<p>→市内循環バスについては、平成 23 年の 4 月から観光拠点循環コースを追加し、6 路線で運行している。事業者や市民による地域公共交通会議の中で、より利便性の高い市内循環バスとなるよう検討している。ルートについては、市民の方の意見を踏まえて決めていくと聞いている。本日の意見については、担当課に報告する。</p> <p>→また、高齢者はバス停で長く待つことも負担になるため、ダイヤだけでなく、様々なご意見が出始めている。単に路線数を増やせばいいというわけではなく、いかに効率的に循環させていくかという視点も重要と考えている。</p>
<p>→南大通線からの観光のバスや工業団地行きの便が新しくできたため、西循環の便が減った。持田や西新町は住宅地なので、もう少し便数が必要なのではないか。</p>	
<p>→市の発展のために観光用の交通と工業団地のバスを増やしたことは分かる。しかし、住民本位のバスも重要である。</p>	
<p>災害対策はどのように行っているのか。西部地域の下には活断層がある。最悪の場合にはマグニチュード 8 以上の地震が起こるといった報道もある。そういう要素がある地域のマスタープランに災害対策の計画は別問題なのか。</p>	<p>→都市計画マスタープランの中では、地震に対する細かなところまでは踏み込めないとしても、まちづくりの視点として市民の皆様の安全・安心に重点を置いていきたい。</p>
<p>p.16「②良好な住宅地の形成」に「局地的な豪雨や台風等による浸水や冠水など水災害を防ぐため・・・」とあるが、壱里山町付近では、元荒川がいっぱいになると、道路が冠水することもある。行田市だけで対策できる話ではないが、周辺自治体とコンタクトを取る等の話があまり書いていない。熊谷市は早くに取り組み、公民館の側も立派な排水路が出来ているが、これも溢れるくらいである。鴻巣市では事業が進んでおり、これまでは田んぼが遊水地となっていたが、それが無くなり、貯水用の池を造っている。行田としては、雨水排水をどうしていくのか、調べていたのか。周辺市では事業が進み、その程度の貯水機能しかのこっていない。最終的に冠水を起こさないようにするには、元荒川の排水能力を県に要請して上げてもらえないか、快適な市民生活が送れるようにしてもらいたい。</p>	<p>→水災害については、所管部署による水害対策事業の計画が西部地区にあるが、進んでいない箇所がある。水路の管理は、行田市だけではないため、関係機関との調整を行いながら、事業を進めていくことになる。</p> <p>都市計画マスタープランには方針を記載し、この方針に基づき、所管部署が自ら実施計画を企画立案し、実施していくことになる。</p> <p>→都市の緑化については課題である。都心や県南では、工場の屋根を緑化するなどのヒートアイランド現象の対策を実施している。</p> <p>県内では過去 30 年間で東松山市の面積の緑が減少しており、本市では森づくり</p>

意見	事務局の回答
<p>また、現在は緑や水田が少なくなり、公園くらいしかない。緑を増やすには、付近に立派な水路があるが、蓋がけし、上に緑を盛ることはできないか。近隣市町村と話をし、住宅地の中に緑を増やすことも検討してほしい。</p>	<p>環境整備事業による森づくりに力を注いでおり、今後もより一層の緑化の推進をすすめていく。</p>
<p>p.15 に、この地区が行田の南の玄関とあるが、外に向けての玄関であれば、もう少し恥ずかしくないものをつくりたい。</p> <p>→行田駅で降りた方が、非常にさびしい思いをするという話を良く聞く。どこへ行けばよいか分からず、観光案内所やバスはあるが、初めての方は迷ってしまう。これについては施策が急がれる。行田市の玄関に相応しい施設を設ける、分かりやすい表示を設置する、車で来られる方もいるため市内のいたるところに設置しては。希望の場所に行きやすいように案内する看板が必要。</p>	<p>→J R行田駅周辺については、都市拠点として、商業施設の誘導や子育て支援施設、行政サービス施設等の整備により、充実していきたい。</p> <p>また、市内各地に快適な移動ができるよう、市内循環バスなどの地域公共交通の充実はもとより、駅前広場や案内板の整備等を行っていきたい。</p>
<p>行田総合病院のあたりの市街化調整区域について。これから開発されるのかもしれないが、先日農水省からの調査で、水田が多い地域について、周辺地域より温度が低いのではと検証しにきた。結果はまだ聞いていないが、住みよい環境というのは、気温も含めてではないか。水田がどんどん無くなると暑くなり、住みにくくなるのでは。</p>	<p>→水田にはその生産機能はもちろん、環境負荷の低減などにおいても重要な機能があるため、農地は集団的に維持し、開発するところと土地利用を明確にすみわけしていかなくてはいけない。</p>